



1 せんのひらがなをかん字でかこう。

ケーキをろくにんぶんかきましょう。

にっぽんはなんぼくに長い国です。

にちようは学校はお休みです。

らいしゅうまでにかん字をおぼえます。

ことはせいれき二千二年です。

わからないときはしつもんしよう。

たいようはひがしからのぼります。

2 ただしいひつじゅんはどれかな？ ただしいほうにまるをつけよう。

西
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一

北
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一
一 一

分
ノ ヲ
ハ 分
分 分
分 分



1 せんのひらがなをかん字でかこう。

ゆうべははちじかんねました。

いっしゅうかんは七日です。

なにかたべてげん気を出そう。

あまりの早さに目がまわりそうです。

そんなことはいままで知らなかったよ。

クイズでいちまんえんがあたりました。

ぼくはまいにち顔をあらいます。

2 五ばん目にかくせんに丸をつけよう。

間 毎 半



1 せんのひらがなをかん字でかこう。

ちかくに大きなおてらがあります。

しみん公園はみずうみのちかくにあります。

せかいちずをみてみよう。

むずかしいかん字の書きかたをれんしゅうする。

しんかんせんできょうとに行った。

2 せんのひらがなをかん字でかこう。

ぼくのおじさんはがかです。

ゆうがたから雪がふるそうです。

母のきょうりは東北です。

たくさんのかみをつれたとのさま。

れきしのあるじいんを見学する。



1 せんのかん字によみがなをふろう。

かん西地方

西れき二千二年

南きよく

北と七星

はん分

十五分

三十六ど三分

2 にはんたいのいみのかん字をかいて二字のことばをつくろう。

東

北

3 にかん字をかいて二字のことばをつくろう。

そろそろ帰る じかん です。

まいしごひ じようは休みです。

おまけするのは こんかい までです。

1 にかん字をかいて文をかんせいしよう。

一月二日は

いん

や

が

日じつです。

はまん月げつです。

わたしたちの

ち

きゆうきゅうをまもろう。

2 上と下の字をくみあわせてことばをつくらう。

上	朝	半	毎	地
方	分	京	市	回

--	--	--	--	--

3 せんのかん字によみがなをふるう。

あたらしい家

家いちん

家いぞく

おうせつ間

木と木の間

とうめい人間

--	--	--	--	--	--



1 にかん字をかいてにつきをかんせいしよう。

きようは六

じ
 はろ

におきた。

いつも

げん
 き

な犬のジョンと十五

ふん

のさん歩をした。

にし

の空にはまだ星がでていた。

歩いている

あいだ

に

ひがし

の空からたいようが顔を出した。

2 せんのかん字によみがなをふるつ。

かん東地方

かん西地方

南きよく

北きよく

